

各 位

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
 代表者名 代表取締役社長 寺井 和彦
 (ヘラクレス市場 銘柄コード:4764)
 問い合わせ先 経営管理グループ長 佐藤 真由美
 TEL:06-6363-2322(代)

業績見込みに関するお知らせ

平成 22 年 1 月期第 1 四半期連結業績の見込みにつきまして、前年同期比較で下記のとおり乖離があることが予想されますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 1 月期第 1 四半期連結業績の見込みと前年同期比較 (平成 21 年 2 月 1 日～平成 21 年 4 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前年同期 (A) (平成 21 年 1 月期第 1 四半期)	46	△ 50	△ 49	△ 50	△ 1,861. 65
今回見込み (B)	68	△ 30	△ 28	△ 29	△ 1,088. 09
増減額 (B-A)	22	20	20	20	—
増減率	49.2%	—	—	—	—

2. 平成 22 年 1 月期第 1 四半期連結業績の見込みと前年同期との乖離の理由について

当企業集団は従来、情報サービス事業として「ファーストコネクター」を中心としたミドルウェアに重点を置き、企業の情報システム構築部分に圧縮転送技術を活用したネットワークの効率化、セキュリティ、データバックアップの観点から部分最適化を追求してまいりました。しかしながら、情報産業は、いまやシステムを作れば効果が得られるといった IT 投資は少なくなり、顧客にとっての新しい価値を創造しビジネス価値を高める IT イノベーションが必要であり、クラウド、SaaS など情報技術全体の最適化とともに、経営との一体感が要求されてまいりました。

このような状況のもと、当第 1 四半期連結会計期間におきまして、従来のネットワーク基盤ソフトをソリューションツールと位置付け、グローバル化に対応する国際標準であるモデリング技術を、日本における設計段階での普及率 50%を目指すべく、ビジネスプロセスマネージメント(※1)関連ビジネスを推進し、SI 事業を絡めた新ビジネスモデル構築のための事業基盤整備を進めてまいりました。

具体的には、モデリング関連事業を推進していくための人材確保、営業案件獲得および開発能力の基礎作りのための組織体制の整備をおこない、また、モデリング技術普及のために、モデリング技術の最新動向や海外の活用事例および教育体系を紹介するフォーラムの開催準備等をおこなってまいりました。

連結子会社の状況につきましては、株式会社UML教育研究所の展開する資格試験運用サービス事業におきましては、個人及び中堅企業からの受験者数の拡大を図るとともに今後、国内提供を開始するOMG認定の「BPM(※1)資格試験」の準備をおこなってまいりました。

また、不動産仲介事業を展開する株式会社ディーキューブにおきましては、中古戸建住宅および中古マンションに的を絞った格安物件の短期売買に注力するとともに、大手IT企業が保有する投資不動産にかかるコンサルティング活動を中心に行なってまいりました。本業務に関連して第2四半期以降は現在進行中の不動産売却仲介を通じて収益貢献を目論んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間におきましては、連結子会社の売上高が、IT事業の売上高の減少を補完したため売上高68百万円(前年同期比:49.2%増)となる見込みであるものの、費用を吸収するには至らず、営業損失30百万円、経常損失28百万円、四半期純損失29百万円となる見込みであります。

今後、当企業集団は新たな中期的戦略として、従来のネットワーク基盤ソフトをソリューションツールとして提供するとともに、モデリング関連事業を推進し、企業体質の改革、事業基盤の整備を進めてまいります。

(※1) ビジネスプロセスマネージメント(BPM)とは、複数の業務プロセスや業務システムを見直し、最適なプロセスに統合・制御・自動化して、改善を続けていく取り組みのこと。

※上記の業績見込みにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上